

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	羊水混濁が著明な胎児鏡手術における持続的羊水還流法の効果の検討
研究責任者	聖隷浜松病院産婦人科・総合周産期母子医療センター 村越毅
研究実施体制	聖隷浜松病院産婦人科・総合周産期母子医療センターで研究を行う
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2025 年 12 月 31 日
対象者	2008 年 01 月から 2024 年 12 月までの間に聖隷浜松病院産科周産期科に入院し胎児鏡治療を受けた患者さん。
研究の意義・目的	双胎間輸血症候群に対する胎児鏡手術は予後改善に寄与しますが、羊水混濁が著明な場合には胎児鏡手術そのものが困難となります。そのような症例に対して、少量持続的羊水還流法により胎児鏡手術を行っています。 持続的羊水還流法を用いた症例に対して、後方視的にその有用性と安全性および問題点を検討することで、将来の胎児鏡手術に対しての有用性に寄与すると考えられます。
研究の方法	対象患者（2008年から2024年に当院で胎児鏡手術を施行した患者）について、診療録から以下の項目の調査を行います。 患者背景、診断名、診断週数、治療内容、母児の合併症、母児の予後、など
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧ください。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 産科・周産期科 （氏名） 村越毅 TEL:053-474-2222(代表) 産科科外来 9:00～17:00 平日